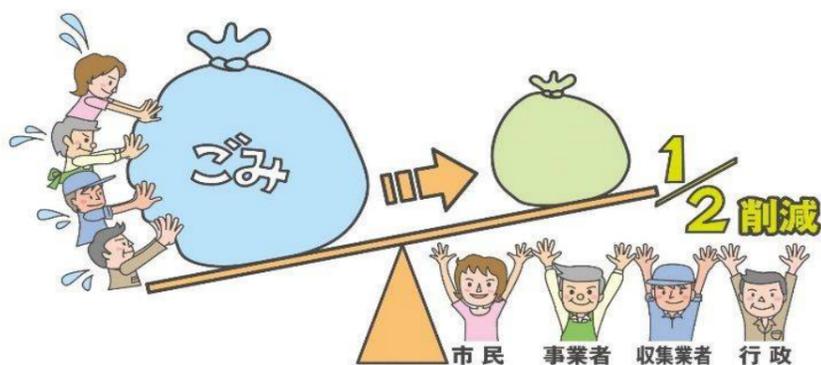


タウンミーティング

ごみの有料化から始める環境モデル都市づくり



平成26年6月29日(日)



●ごみの有料化●

- I ごみ有料化がなぜ必要なのか？
- II ごみ有料化の国や他の自治体の動向は？
- III ごみ有料化の検討の経緯は？
- IV ごみ有料化をどう進めるのか？
- V ごみ有料化の課題とその対策は？



家庭ごみ有料化について

● 家庭ごみ有料化とは

家庭からごみを排出する際、市の指定する有料のごみ袋等を使用することにより、ごみの排出量に応じて、その処理費用の一部を負担していただくものです。



3

I ごみ有料化がなぜ必要なのか？



本市における家庭ごみ有料化の目的

- 1 環境負荷の少ない循環型社会の形成
- 2 埋立場の延命化
- 3 ごみ処理にかかる費用負担の公平性の確保
- 4 焼却場建替え時の規模縮小

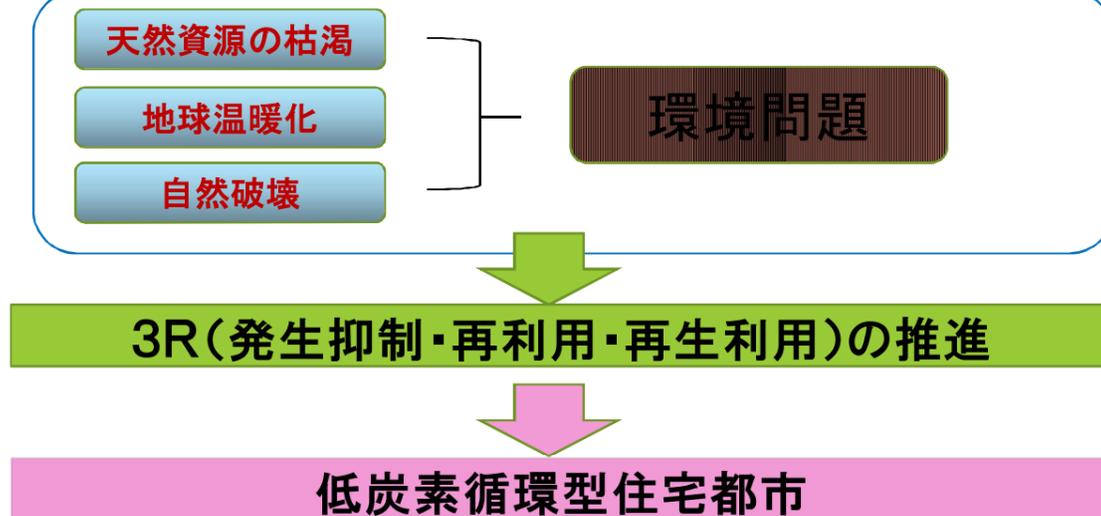


4

I ごみ有料化がなぜ必要なのか？

I-1 環境負荷の少ない循環型社会の形成

●循環型社会の構築

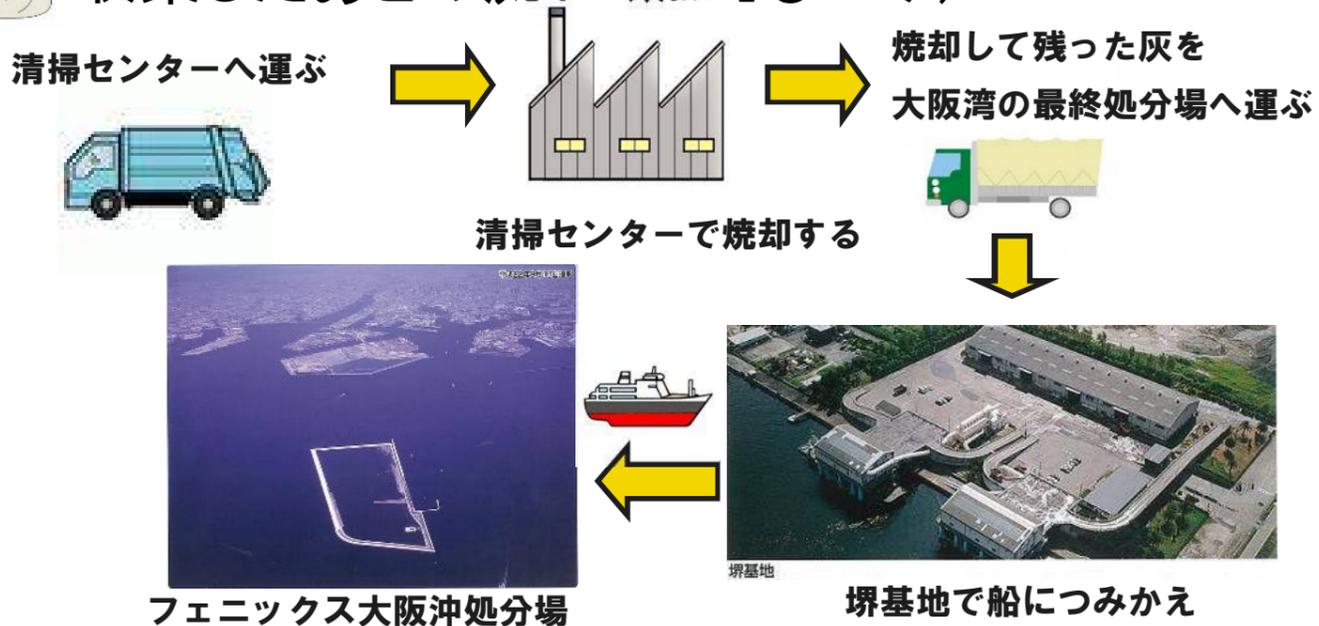


I ごみ有料化がなぜ必要なのか？

I-2 埋立場の延命化



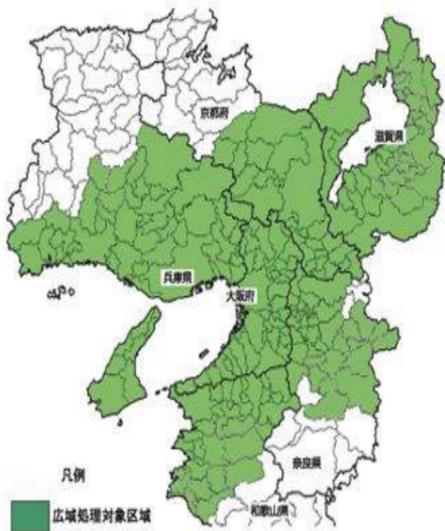
収集したあとの流れ(燃えるごみ)



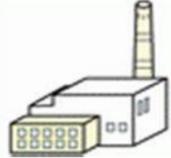
I ごみ有料化がなぜ必要なのか？

I-2 埋立場の延命化

大阪湾フェニックス計画



清掃センターから
排出される焼却灰



堺基地経由で、大阪沖埋立
処分場(大阪湾夢洲沖)に
埋め立て。



受け入れ対象区域:近畿圏2府4県168市町村

7

I ごみ有料化がなぜ必要なのか？

I-2 埋立場の延命化

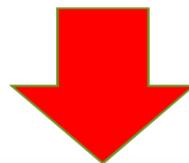


大阪湾圏域全体の一般廃棄物の減量化目標

大阪沖埋立処分場

H21年10月受入開始

平成39年で受け入れ終了



まずは、今の処分場
の延命化！

平成27年度に

- ・リサイクル率 25%
- ・ごみ排出量を平成12年度実績に対し25%減
- ・最終処分量を平成12年度実績に対し60%減

8

I ごみ有料化がなぜ必要なのか？



ごみ処理に係る負担の公平性の確保

家庭ごみ有料化を実施することにより、新たな負担が生じることになりますが、一般的にその負担は排出量に応じたものとなることから、費用負担の公平性の確保が図られるとともに、更なるごみ減量・リサイクルに繋がることが期待されます。



II ごみ有料化の国や他の自治体の動向は？



環境省の方針

市町村の役割

経済的インセンティブを活用した一般廃棄物の排出抑制や再生利用の推進、排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革を進めるため、**一般廃棄物処理の有料化の推進を図るべき**である

国全体の施策の方針

一般廃棄物処理の有料化を推進する



Ⅱ ごみ有料化の国や他の自治体の動向は？



有料化の全国の状況

全国市町村の有料化実施状況(2014年4月現在)

	総数	有料化数	有料化実施率
市区	813	450	55.4%
町	745	517	69.4%
村	183	119	65.0%
市町村	1741	1086	62.4%

(参考: 東洋大学経済学部教授 山谷修)



Ⅱ ごみ有料化の国や他の自治体の動向は？



有料化の県内の状況

奈良県	市町村数	内有料化実施数	実施率(%)
市	12	6	50.0%
町	15	12	80.0%
村	12	9	75.0%
市町村	39	27	69.2%

未実施の6市のうち、
実施決定1市(生駒市)、実施延期1市(天理市)
廃棄物処理基本計画にて有料化検討を明記 4市



有料化実施済
市町村



Ⅲ ごみ有料化の検討の経緯は？



有料化までの経緯(1)

市長選挙

H22年1月	2期目のマニフェストに有料化の実施により排出量の削減を明記
H26年1月	3期目のマニフェストに燃えるごみ・不燃ごみ・大型ごみの収集を有料化すると明記

有料化等検討委員会

H23年10月	ごみ減量化に向けてのアンケート
H24年3月29日	検討委員会から市長へ答申(委員会開催12回)
	1年間のごみ半減トライアルの結果を踏まえ、有料化導入を判断すべき

ごみ半減トライアル

H24年4月	ごみ半減トライアル開始
H25年7月	ごみ半減トライアルにてごみ減量化に向けてのアンケート



Ⅲ ごみ有料化の検討の経緯は？



ごみ半減トライアル計画

目的 「生駒市ごみ有料化等検討委員会」の答申で「ごみ半減トライアル計画」を実施した上で有料化導入を判断されたいとの意見を受け実施

期間 平成24年4月～平成25年9月(1年半)

モデル地区と世帯数 ひかりが丘590世帯、壱分町80世帯(ゴタニ20、第一公園20、ネオハイツ40)、俵口20世帯 計690世帯

取組みによる削減率 前年同月平均比 ▲3.7%



Ⅲ ごみ有料化の検討の経緯は？



有料化までの経緯(2)

平成25年12月13日

「ごみ有料化トライアル計画に関する報告書」が市長・議長に提出される

結論

有料化しない場合、
ごみ焼却量の大幅な削減は困難



ごみ有料化導入はやむを得ない

平成26年1月26日

ごみ有料化を検討していただいた委員にトライアル結果を報告

平成26年2月15日号

「広報いこま」で市民にトライアル結果を報告

平成26年3月議会で家庭系ごみを有料化する条例改正を可決

15

Ⅳ ごみ有料化をどう進めるのか？



手数料を徴収するごみ

有料化になるごみは、市の分別区分のうち

・ **燃えるごみ**

・ **大型ごみ**

・ **燃えないごみ**

の3種類です

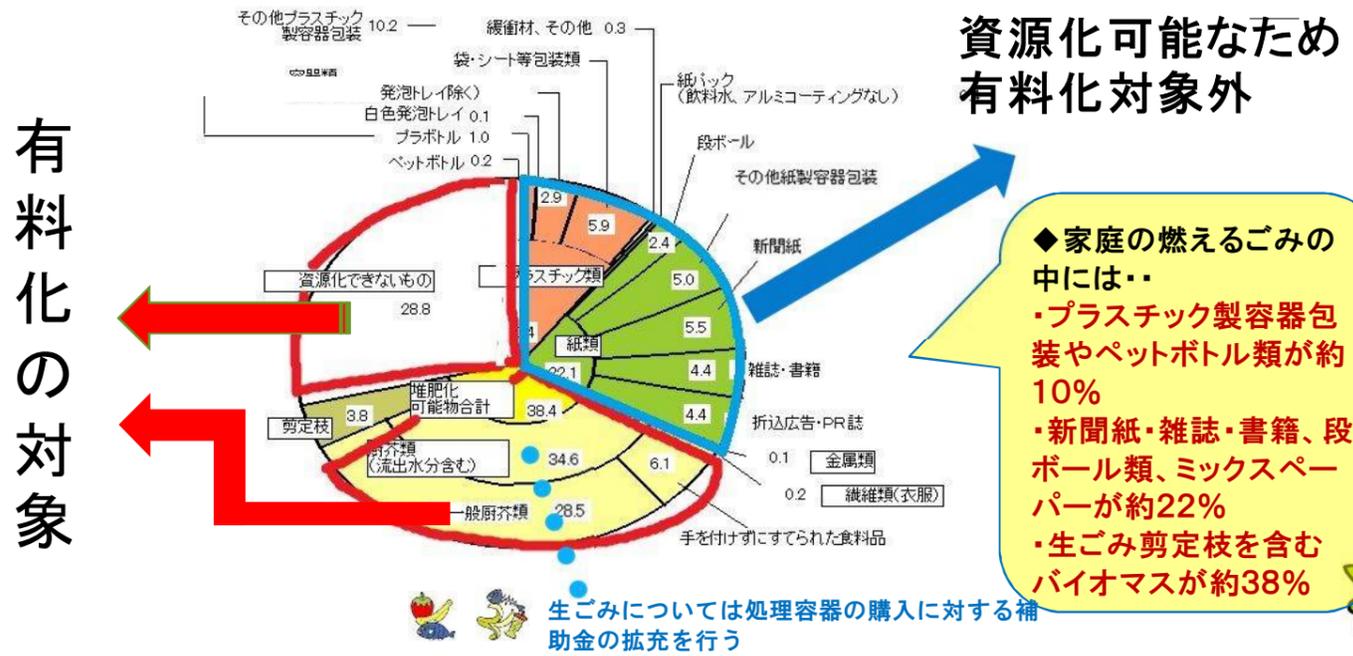


16

IV ごみ有料化をどう進めるのか？



家庭から捨てられる燃えるごみの内訳



IV ごみ有料化をどう進めるのか？



料金体系

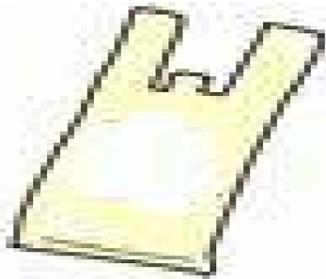
- 燃えるごみ ・ 指定袋
- 燃えないごみ ・ 指定袋
- 大型ごみ ・ シール貼付 1点300円

*清掃リレーセンターに持ち込む場合・・・
 有料化対象物は、指定袋またはシールを貼付（重量制の廃止）

IV ごみ有料化をどう進めるのか？



指定袋



45ℓ袋: 45円/枚	1セット450円(税込)
30ℓ袋: 30円/枚	1セット300円(税込)
15ℓ袋: 15円/枚	1セット150円(税込)
7ℓ袋: 7円/枚	1セット 70円(税込)

*10枚1セットで販売

ごみ処理に必要な経費のうち有料化によって市民にご負担していただく割合 15.5%

有料化による一世帯あたりの年間負担額 3,690円



IV ごみ有料化をどう進めるのか？



有料化の対象外について(燃えるごみ)

集団資源回収の対象品目

- 新聞紙、雑誌、ダンボール、牛乳パック、ミックスペーパー、古着、かばん、くつ

剪定枝、落葉、刈草

- 地域の緑化推進・美化のため、家庭から出る剪定枝等は透明・半透明の市販袋で出してもよいことにする

地域清掃 (ボランティア清掃)

- 自治会等による地域の環境美化活動では申請により市が支給する袋を利用して指定場所に出してもよいことにする



IV ごみ有料化をどう進めるのか？



本市におけるごみ減量補助実施事業(1)

集団資源回収活動への支援

- ・ 1 kgにつき 4 円を補助



家庭生ごみ自家処理容器等設置費への補助

10月から

- ・ 補助率を 3 / 4 に拡大
- ・ 限度額の引き上げ
処理容器 9,000円/機械式 75,000円

- ・ キエーロ、ディスプレイが新たに補助対象に

IV ごみ有料化をどう進めるのか？



本市におけるごみ減量補助実施事業(2) 家庭生ごみ自家処理容器等設置補助

家庭の生ごみをたい肥化し、再資源化



ごみの減量化

家庭からごみを出さないという波及効果

指定店にて購入



申請書、請求書、販売証明書を提出



申請者口座に振り込み

IV ごみ有料化をどう進めるのか？



本市におけるごみ減量補助実施事業(2)
家庭生ごみ自家処理容器等設置補助

・機械式(電気式)



生ごみを温風による乾燥
や微生物による分解で減
量させる機器

・密閉式処理容器



土や薬品を使って生ごみを発酵させ、堆肥化する処理容器

ぼかしと呼ばれる生ごみ堆
肥化醗酵素材を生ごみにふ
りかけて醗酵

・埋め込み式処理容器



ポリバケツのような大きさで大量
に処理
土やぼかしを入れてふたをし、中
を高温にすることで生ごみを発酵

IV ごみ有料化をどう進めるのか？



本市におけるごみ減量補助実施事業(2)
家庭生ごみ自家処理容器等設置補助



バクテリア de キエーロ



ベランダ de キエーロ

- ・補助限度額 15,000円
- ・製造/販売 キエーロ葉山(神奈川県葉山町)

におわない：土の表面はいつもサラサラ
ランニングコストはゼロ
：土中の微生物が生ごみを分解
水切りの必要なし
：微生物には水分も必要
ほとんどの食材が投入可能
：腐ったものでもOK
投入を続けてもほとんど土の量が増えません

IV ごみ有料化をどう進めるのか？



本市におけるごみ減量補助実施事業(3) ディスポーザ設置補助

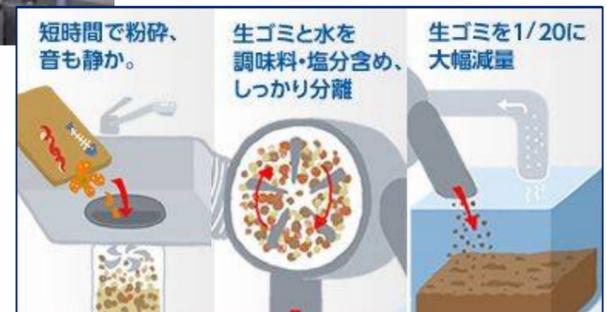
家庭における生ごみの減量を推進するため、10月から新たに補助対象とします

補助対象品

生駒市ディスポーザ排水処理システム取扱要綱に基づき新設の確認を受けた設備

補助率

設置金額の4分の3（限度額20万円）



25

IV ごみ有料化をどう進めるのか？



ごみ袋の販売方法

スーパーマーケット等、市民がいつでも気軽に購入できるように販売店を募集します。



26

IV ごみ有料化をどう進めるのか？



市民への周知方法

家庭ごみ有料化を実施するために、制度に対する市民理解を深めることが重要であることから、きめ細かい周知活動を行います

●市民説明会の開催

各自治会での市民説明会や、申し込み団体への出前講座

●周知啓発方法

広報やホームページへの掲載、公共施設や販売小売店等へポスターの掲示およびチラシの配布

●全世帯配布（住民登録している世帯に限る）

平成27年2月にお試し袋とパンフレットを配布



V ごみ有料化の課題とその対策は？



不適切排出・不法投棄への対応

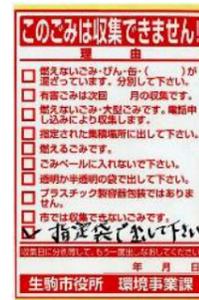
不適切排出

ステーション



回収しません

指定袋を使わないで排出



不法投棄

空き地・山林等



定期的なパトロールを強化

公道・公共施設



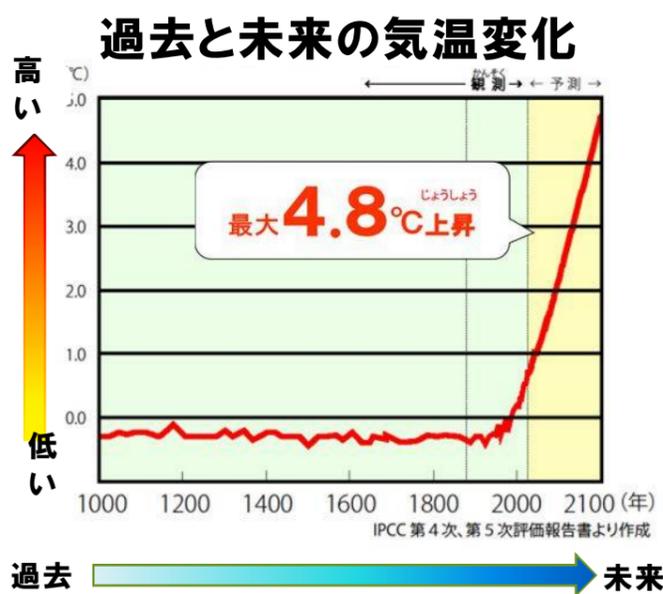
「環境モデル都市のまちづくり」

『市民・事業者・行政の“協創”で築く低炭素“循環”型住宅都市』

環境モデル都市として、
全国の住宅都市が目指すべき都市モデルを創造



IPCC※ 第5次評価報告書 報告内容のまとめ(1)



気温変化を2°Cまでに抑えるには



- ・ CO₂を2050年までに半減
- ・ 2100年にはゼロかマイナスに。

※IPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)
地球温暖化についての科学的な研究の収集、
整理のための政府間機構
2007年にノーベル平和賞を受賞

IPCC 第5次評価報告書 報告内容のまとめ (2)

- 95%以上の確度で、**人為起源**である、温暖化については「疑う余地がない」
- 最近30年の各10年間の世界平均地上気温は、1850年以降のどの10年間よりも高温。



<p>温暖化がすすむと...</p> <p>大雨が降りやすくなる</p>  <p>かつら 桂川 台風18号の被害 (2013年9月16日) ※テレビ映像より</p>	<p>おいしい食べ物がとれにくくなる</p>  <p>けんこう 健康へのえいきょう</p> 
--	--

31

環境モデル都市とは

- 「環境モデル都市」は、温室効果ガス排出の大幅な削減など低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市を国(内閣府)が選定するもの。
- 現在、全国で23自治体が選定
- 近畿では堺市、京都市、神戸市、尼崎市に次ぐ選定。
- 大都市近郊型の**住宅都市**としては、**全国初**の選定。



生駒市民の環境への取組が国に認められた。

32

温室効果ガスの削減目標

～市域からの温室効果ガス排出量の削減～

・長期削減目標(2050年度)

2006年度比70%削減(約21.4万t-CO₂)削減

・中期削減目標(2030年度)

2006年度比35%削減(約11.4万t-CO₂)削減

・部門別の温室効果ガス排出量は、一般家庭(41.4%)と小売業・飲食店・病院など(業務他・26.3%)の**民生部門(家庭・業務他)**が全体の**67.7%**を占めている。

目標達成のためには、

市民・事業者のみなさんのご協力が不可欠

ゴミの減量による
CO₂の削減

33

取組み①:都市構造の再設計

目的 世代を超えて暮らせる街に

具体例

- ・空き家のリノベーション※に対する支援
- ・省エネルギー改修工事への補助
- ・病院・社会福祉施設などを集約し、コンパクトな街に
- ・良質なサービス付き高齢者住宅などの整備

※既存の建物に大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり価値を高めたりすること。

34

取組み②:資源循環・エネルギー自給システムを構築

目的 エネルギーが生まれ循環するエコな街に

具体例

- 生ごみを利用するバイオマス発電施設の設置
- 太陽光発電などさまざまなエネルギーの供給システムの導入支援

35

取組み③:ICT(情報通信技術)を活用したコミュニティサービスの推進

目的 最新の技術により安心して暮らせる街に

具体例

- 情報通信技術を使ってエネルギーを効率的に活用する
- 情報通信技術を活用した「見まもりサービス」により高齢者の安否確認を可能に

36

取組み④:生駒市内における「食のバリューチェーン化※」

目的 地産地消により“食”が循環する街

具体例

- バイオマス発電によって生じるCO2を野菜の栽培に利用し「いこまブランド」を創出
- このシステムを小学校に設置し環境教育と食育を両立

※ 生産・流通・販売等の連携強化で付加価値を高めること

37

取組み⑤:コミュニティ交通システムの再構築

目的 気軽に外出できる便利な街に

具体例

- 既存のコミュニティバスのさらなる充実を実現
- 電気自動車・超小型自動車(1~2人乗り)などの導入により、高齢者の買い物を支援
- 電気自動車の急速充電器を設置し、普及を促進

38

全国の住宅都市の先進モデルとして

これから全国の住宅都市が直面する多くの課題を解決する**モデル**となるために。

市民・事業者のみなさんにしていきたいこと、できること。

- ・ゴミを分別し、燃やすゴミの量を減らす。
- ・不要なものは買わない。
- ・省エネ効果の高い家電への買い替えで電気使用量を減らす。
- ・雨水をためて、水やりや洗車に活用する。
- ・太陽光発電設備などの再生可能エネルギーの導入を検討する。
- ・コンポスト等を活用し、食べ残しや野菜くず等の生ゴミの量を減らす。

家計にもやさしい。

みなさんの取組で全国の住宅都市のモデルとなる
「環境モデル都市いこま」へ